



平成30年6月14日

報道機関 各位

大学生が考える富山市の未来 —富山の地域づくりワークショップの実施—

富山大学の教養教育の授業「富山の地域づくり」の一環として、ロックフェラー財団100のレジリエントシティならびに富山市の協力を得て、富山の30年後を大学生が考えるワークショップを実施します。100のレジリエントシティが富山市で大学生向けに実施するワークショップは今回が初めてです。

このたび、下記日程で開催しますので、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

授業名 教養教育 富山の地域づくり

(授業担当 人文学部 准教授 大西宏治 (人文学部))

日時 2018年6月17日(日) 10:00~16:30

場所 富山大学教養教育棟 D21 番教室

授業の内容

特に富山の観光振興を通じて地域を活性化させるにはどうすればよいのか、その結果、30年後の富山市にどのような未来が広がっているのかを大学生たちに考えてもらいます。

今年度から富山大学3キャンパス(五福、杉谷、高岡)の学生が教養教育は一堂に会して授業を受講するため、多様な背景を持つ学生たちが意見交換しながら富山の未来を考えます。

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学人文学部(大西宏治)

TEL 076-445-6184

FAX 076-445-6141

ohnishik@hmt.u-toyama.ac.jp

資料

富山の地域づくり（6/17）のワークショップの案内

担当：大西宏治

日時：6月17日（日）9:30～17:15

場所：共通教育棟 D21

ワークショップのねらい

このワークショップでは富山市を観光客の視点からとらえなおします。まず、富山市の観光に関する実態を踏まえ、その強みや課題を見つけ出します。次に、富山市の課題を踏まえ、グループディスカッションを通じてそれらを克服する取り組みを提案してもらいます。このワークショップを通じて学生には新しい考え方や、創造的なアイデアを構築する力がつきます。また、市民の期待やニーズなどを先回りして考えることができるようになります。さらに、解決策を見出すための多様なアプローチを知ることができます。

富山市は学生たちから出たユニークなアイデアを観光施策へ生かすことができるかもしれません。そうならなくとも、富山の観光のことを真剣に考えたことがある市民を育てることにつながります。

ワークショップのスケジュール

時刻	項目	誰が
8:30-9:30	ファシリテータ会議	ファシリテータ
9:30-10:00	参加者の到着	全員
10:00-11:00	開会およびプレゼンテーション Q&A	富山市未来戦略室 富山市観光政策課
11:00-11:30	アクティビティ 1: ユーザープロフィール	全員
11:30-12:15	アクティビティ 2: 富山の強みや課題	全員
12:15-13:20	昼食	
13:20-14:10	アクティビティ 3: 富山の可能性	全員
14:10-15:20	アクティビティ 4: 可能性の深掘りと実行	全員
15:20-16:00	プレゼンテーション	
16:00-16:15	順位発表	ジャッジ
16:15-16:30	閉会及び総括	未来戦略室、100RC 富山大学
16:30	集合写真	全員

ワークショップ参加者

富山大学1～3年生 81名（全学部）

ワークショップ 指導

Yumi Nishikawa (100RC)

ファシリテータ

富山市職員8名、富山大学教員2名、

プレゼンテーションのジャッジ

鈴木基史 富山大学 理事

堀田裕弘 富山大学 都市デザイン学部 教授

片岡純一 富山商工会議所 経営支援課 課長代理

森俊彦 未来戦略室 室長